



発行：長野県姫川砂防事務所（北安曇郡小谷村千国乙 10307-3/電話 0261-82-3100）

白馬村・小谷村では「ふきのとう」を方言で『ちゃんめろ』と言います。

《小学生の皆さんを対象に砂防工事見学会を開催しました》

9月24日(水)に小谷小学校(23名)、9月25日(木)に白馬南小学校(15名)の皆さんを対象に、砂防施設の現地見学会を国土交通省松本砂防事務所の協力を得て開催しました。見学会では土砂災害の前兆現象や、いざというときの避難の仕方、砂防事業の役割などについて学習し、また、現場において生徒の皆さんへ事業の説明をするほか、重機のラジコン操作(小谷村浦川左支川金山沢)やイワナの放流(白馬村平川)など、請負業者が用意した楽しいイベントを体験してもらいました。

最後に、長野県治水砂防協会姫川支部から記念のノートをプレゼントしました。

小谷小学校の皆さん(9/24)



重機のラジコン操作体験(金山沢工事用道路工事)

白馬南小学校の皆さん(9/25)



みんなでイワナを放流(平川溪流再生工事)

《 雪崩対策事業 白馬村飯田 》

平成24年度から白馬村飯田地区(五竜スキー場上部)において雪崩対策工事を実施しています。いよいよ大規模な「雪崩予防柵(支柱の高さ約5.2m)」の一部が完成しました。この雪崩予防柵は、支柱の間に張られているネットによって積雪を留めることで雪崩の発生を予防します。今後は、毎年1段の施工を行い総数5段の完成を目指します。



五竜スキー場グレンデから施設を見る



工事施工中の様子

《 新潟大学の学生が管内を視察しました 》

8月29日(金)新潟大学の学生12名が、姫川流域の地形地質を学ぶため、管内視察に訪れました。自然環境科学科の奈良間准教授が引率する学生で、新潟大学の視察は昨年につき2度目となります。

一行は明治44年に大崩壊した稗田山を視察した後、昨年発生し緊急に地すべり対策工事を実施している小谷村清水山の現場を視察しました。学生達からは、「トンネルで迂回できないのか」などの工法に関する質問のほか、「国土保全のため、大切な仕事をしているのですね」と労いの言葉もあり、将来一人でも砂防関係の仕事に就いてほしいと期待を抱きました。

現場視察の後、会場を姫川砂防事務所に移し長野県砂防ボランティア協会副会長で北陽建設(株)常務取締役の宮澤洋介さんから姫川流域の地形地質に関するレクチャーを受け、白馬村の宿泊先へと向かいました。



地すべり災害清水山現場視察



室内研修(講師:北陽建設 宮澤洋介氏)

《 長野県治水砂防協会が国へ緊急提言を行いました 》

本年7月9日未明、南木曾町において時間97ミリという猛烈な豪雨があり、梨子沢では大規模な土石流が発生し、住宅10戸が全壊し尊い人命が失われました。このような事態を受け、総会において局地的な大雨を観測できるレーダーの配備や平成27年度予算要求に砂防施設整備の所要額の確保を求める「緊急提言」を決議し、8月8日に国土交通省徳山技監ほか幹部の方々に提言書を手渡しました。



長野県治水砂防協会総会(7月23日)
において緊急提言を行う松本村長

※ 長野県治水砂防協会とは

土砂災害から県民の生命・財産を守るため、治水砂防事業の促進を図ることを目的に長野県内の市町村行政機関により組織されています。白馬村と小谷村は姫川支部として加盟しており活動の中核を成しています。

《 トピックス 》

▶ 通勤途中に目に留まった舗装修繕工事

国道 148 号白馬村飯森交差点前後で舗装修繕工事が施工されています。切削・オーバーレイ（痛んだ既設舗装を削り取り、再生アスファルト合材（新材に古いアスファルトを混ぜた混合物））で施工かと思いきや、中々舗装しないのでどうしてかと思っていたところ、ある日、出張途中に目にしたのは削り取った舗装面を掘り起こし、黒っぽい採石らしきを均しているところでした。現場にいた作業監督さんに尋ねてみたところ、路上再生路盤工という工法で実績 20 年以上だそうです。既設舗装を削り取り→セメント（高炉セメント B 種）とアスファルト乳剤を加え→ロードスタビライザー（田んぼや畑を起こすトラクターのイメージ）という機械で既設路盤を掘り起こし、混合・締め固めるそうです。既設路盤が強くなるそうで、トラック・バス等の重車両の多い道路では舗装の寿命が長くなるようです。



スタビライザーによる混合



タイヤローラーによる締め固めの様子

▶ クマとの遭遇・被害

小谷村ではあまり聞かないですが、最近、クマに襲われたというニュースが多く流れます。先日、白馬村犬川に出かけた際、ロッジの奥さんから興味深い話を伺えました。

- ・ ここに住んで 40 年経つけど、クマに襲われたことないわよ。
 - ・ 親子（母グマと子グマ）が家の庭に遊びに来るの。窓から様子を伺っているとたまに母グマと目が合うと、母グマはヴォーという低い声で子グマに呼びかけ、後ろを振り返りながら逃げて行くのよ。
 - ・ まず、車があるとクマは出てこない。
 - ・ 外へ出るときはドアをノックして出るの、これから外に出るからねとクマに教えてあげるの。
 - ・ 食べ物は絶対に与えないこと。
 - ・ 登山経験からクマより体を大きく見せるために傘を拡げて持ち歩くといいかもしれない。
 - ・ クマは気配を感じさせない。人間はクマの存在に気付かない。
 - ・ クマはクマザサの葉先だけ 10cm 位揃えたように食べる。
 - ・ 家の周りには獣道がある。
 - ・ 家の一本の木が好きなのでよく登って周りを見ている。下りるときは登った格好で降りてくる。
- ※ 五竜スキー場付近では人間とクマが共存できているのでしょうか。人間を怖がるクマと襲うクマがいるようです。自分の地域がどうなっているか考えてみてはいかがでしょうか。



しあわせ信州

銀座 NAGANO～しあわせ信州シェアスペース～
10月26日オープン
<http://www.ginza-nagano.jp/>